

私の挑戦（父と仲良くなる）－ イ・セミ

こんにちは。私はイセミと申します。今日私は父と仲良くなることについて話しようと思います。私のスピーチのタイトルを見てこれがどうして挑戦なのかと思っている方がいらっしゃるかもしれません。しかし、子供の頃の私にはとても大変な挑戦でした。

私はかなり長い時間父に対する誤解を持っていました。私の父は無口で無愛想な人です。私の伯母によると父は「いただきます・行ってきます・おやすみなさい」この3フレーズしか1日に言わなかったそうです。それで子供の時、私との対話をする努力もせず、私に笑ってもくれない父を見て、私を愛していないのだと思いました。私は父と二人だけで家にいる時、すごくぎこちなくてどうすればいいのか分からなかったのです。ある日周りの友達に聞いてみたら、父親と友達のように過ごしていると聞きました。私はそれがとてもうらやましかったです。しかし、このような父の下で育ってきた私にはやはり父に近づくことは困難なことでした。それでも勇気を出して父に自分から話かけてみる挑戦をしました。また、ある日は父に甘えてみる挑戦もしました。さらに、運動が好きな父と一緒に運動もしました。このように、父との距離を縮める挑戦を少しずつしてみました。そうしたら父がある日先に話かけてくれるし、私に笑いかけてくれるなど、父との距離が近づいていくのを感じました。

私は父が私を愛していないと思っていましたが、そうではありませんでした。私は知りませんでした。父は表現が苦手で、私に近づいてこれずにいたのです。父が私をどのくらい愛しているのか今は知っています。ここにいらっしゃる方たちの中にも、昔の私と父のような関係の人がいらっしゃるかもしれません。私はそのような人には自分から近づいていく挑戦をしてみたいと思います。このような挑戦をするかしないかによって、大きく変わると思います。この挑戦をしなかったら私は今でも、父の愛情に気づかないまま、どうして父は私を愛してくれないのかと感じたままだったかもしれません。以上で私の発表を終わりにします。ご清聴ありがとうございました。